

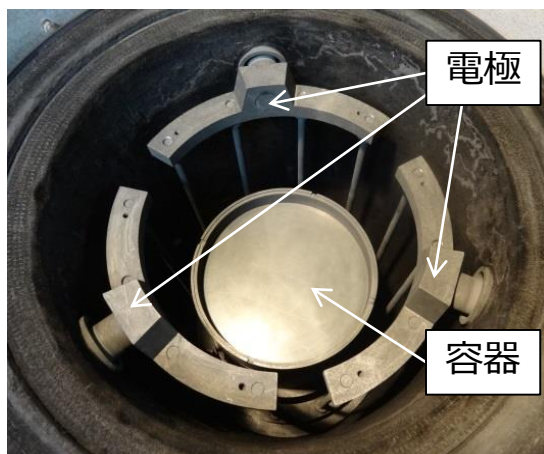
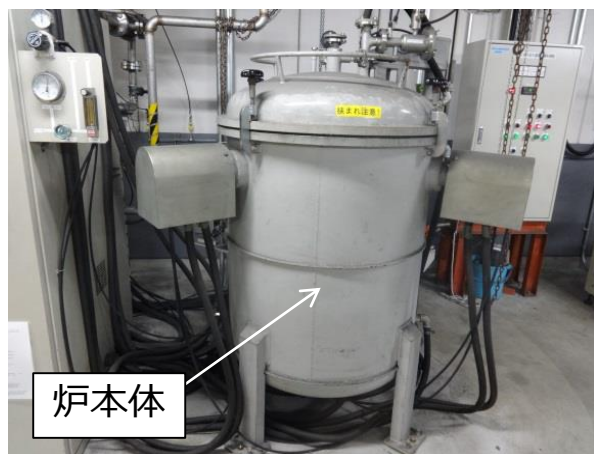


◆熱処理（黒鉛化炉を用いた炭素材料の熱処理）

【試験概要】

一般に炭素材料を黒鉛化することで、①結晶性が高くなる、②表面欠陥が少なくなる、③表面の均一性が向上するといった特性の向上が期待されます。このため、Liイオン電池やキャパシタ用の電極材料等において、黒鉛化した炭素材料は広く利用されています。

当社では、研究開発用途を目的とした、少量での熱処理を実施することが可能です。



黒鉛化炉の外観及び内部

【黒鉛化炉のスペック】

熱処理温度：～2,300℃（Ar雰囲気）

昇温速度：～5℃/min

温度計：R熱電対（0～900℃）

放射温度計（900℃～熱処理温度）

到達真空度：～6.5Pa（無試料、常温）

炉内の有効寸法：φ320×H400

容器の内寸法：φ300×H35×7段（黒鉛製）



試料仕込時の外観